2022

平和コンサート in ながよ vol 23

Peace Concert in Nagayo 2022

作品のプロフィールは3ページで紹介しています

2022 8/7日 会場 長与町民文化ホール 開演 14:00

作品の複製及び転載は禁止します

ごあいさつ

長与町長　**吉田　愼一**

本日はご来場いただき、誠にありがとうございます。

指方実行委員長をはじめ、実行委員会皆様のご尽力により、「平和コンサート in ながよ」が開催されますことを、心より感謝申し上げます。

被爆から 77 年が経過し、戦争や原爆の悲惨さなど、記憶の風化が懸念されるなか、長与町では核兵器の廃絶と恒久平和を願い、平成 6 年に「平和で安全な町」宣言を行い、様々な平和事業に取り組んでまいりました。

このコンサートは、平和の尊さ、そして戦争の惨禍の記憶を風化させることなく、コンサートを通じて後世に引継ぎ発信していこうとの思いから2000年に開催して以来、今年で 23 回目を迎えます。

昨今の世界情勢は、私たちが思い描く平和とはかけ離れた状況ですが、出演者一人ひとりの平和への想いが水の流れのように少しずつ集まり、小さなせせらぎが大きな流れとなって、ご来場の皆様の心に、ひいては世界中の皆様の心に届くことを願っております。

今年のコンサートは、高校生による「平和の詩」朗読をはじめ、５月から一生懸命練習に励んだ子どものための弦楽器講座の皆さんの演奏や「平和コンサート in ながよ」合唱団の皆さんの合唱、そして長崎 OMURA 室内合奏団、「平和コンサート in ながよ」ジュネス弦楽アンサンブル、高田中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏をお楽しみいただきます。

出演者一人ひとりの平和への想いに、耳を傾けていただければと存じます。また、プログラム表紙の絵は町内在住の方の作品です。プログラムにプロフィールを、ホワイエに作品を展示しておりますので、ぜひご覧ください。

結びに、本日のコンサートに出演される皆様、ご指導や運営に携わっていただきました皆様、そして本日お越しいただいた皆様に、心より感謝申し上げます。そして、すべての皆様とともに、平和の祈りが世界のあらゆる人々の心に届きますことを祈念し、開催にあたりましての挨拶といたします。

ごあいさつ

平和コンサート in ながよ実行委員長　**指方　浩**

本日は「平和コンサート in ながよ」へお越しくださいましてありがとうございます。

世界的に混迷を深めるなか、また困難な状況のなか、関係者多くの皆様方のご尽力によりこのコンサートが開催されますこと、心よりお礼申し上げます。

私たちは一人ひとり平和を願っています。しかし平和と言っても漠然としており、各自が考える平和は少しずつ違っているようです。この平和コンサートもあらゆる方向から意見が出され、そして考え工夫をしあって今回第 23 回を迎えました。私一人が考えうる平和はちっぽけなものかもしれません。それが大きな力となるのは、人智では考えも及ばない、又思いはかることも出来ない「平和という大きな願い」がこの世界を超えたところに存在し、その不思議な存在が私たち一人ひとりに働きかけ平和を願わしめているからではないでしょうか。私たちはその「平和という大きな願い」に耳を傾け生きていくことだと思います。

音楽は何時の時代でも人々の生活の中で――たとえその社会が封建的な制度であれ、独裁的な政治形態の中であれ――人と人との繋がりの役目を担ってきました。主義や政治の違いを超え、一つの地球上で共存していくためには、そこに住む人たちが生み演奏し育んできた音楽を、対立や争いのために拒否したり差別することなく尊重し共に聞いていきたいと思います。

人間が自然との共存を図ることなく自由と称し、自己主義的に自然破壊を世界的規模で推し進めていくと、その土地にひっそりと生存していた未知のウイルスが共生を壊され、押し出されて世界を巻き込み大暴れするかもしれません。一つの思考法・主義・主張で他の土地を征服し滅ぼすことなく緩やかに共存していくために、聞く行為を大切にする音楽が担っているものは大きいと思います。音楽を作る演奏する聞くことの中に「願われている調和の世界」を見いだしていきたいと思います。

時の体制に合わせ、現実に合わせて運用していく行政法と違って、憲法は「平和という大きな願い」が生み出した理想でしょう。国境も軍事基地もない共存共栄の理想の地があります。今回合唱により賛歌されます南極です。南極条約のように、混沌とした現実に合わせることなく理想は理想として大切に残しておきたいものです。今、難局を乗り越えるモデルは「南極」です。世界の窮状を救うのは「世界の九条」です。

今日の演奏プログラムも素敵な曲ばかりです。「平和という大きな願い」が広まり、世の中が安穏になりますように、演奏に込められた願いを共に聞いていきましょう。

「平和で安全な町」宣言

── 核兵器の廃絶を願って ──

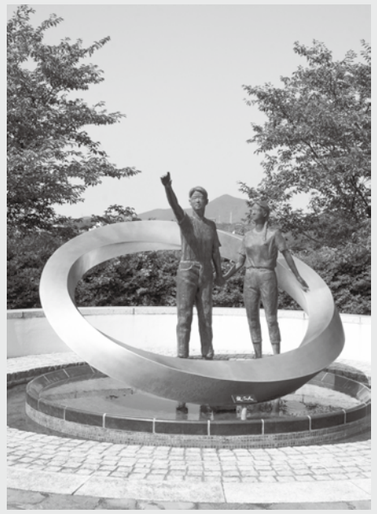
世界の恒久平和は、人類共通の願望である。

現在・未来を通じて、平和で安全な町づくりを念願する私たち長与町民は、平和で安全な郷土を築き、子孫に引き継ぐことが、今を生きる私たちに課せられた最大の責務である。

原爆によって、長崎市とともに凄惨な被害を被った長与町は、核兵器の脅威をなくし、世界平和と人類の恒久的な安全・生存を保持するため、非核三原則を守り、核兵器のすみやかな廃絶と、紛争と戦争のない世界の実現を強く望むものである。

よって、長与町民はこの理念達成のため、誇りと責任をもって、ここに「平和で安全な町」を宣言する。

１９９４年9月１９日
長崎県西彼杵郡長与町



平和祈念碑「愛・二人」

令和４年度　長崎県障害者芸術文化活動普及支援事業

「平和コンサート in ながよ」イラスト提供者

木本（きもと）　雅尚（まさなお）氏

プロフィール

2002 年生まれ、長与町育ち。長与第二中学校美術部に３年間所属し、活動に励む。

中学２年生の時にアートクラブグランプリ作品展に応募して佳作を受賞。（とてもうれしかった）

その後、希望が丘高等特別支援学校に入学し美術部に入部。２年時、第 50 回長崎県高等学校美術作品展にて優良賞を受賞。３年時、第 27 回全国特別支援学校知的障害者校長会長賞を受賞。（自信がついた）

高等学校卒業後も絵を描き続け、第７回東北障がい者芸術全国公募展では、でん六賞を受賞。現在も展覧会に作品を応募するなど意欲的に活動中。

こちらのイラスト含め、合計４点の作品をホールのホワイエにて、展示しております。

プログラムイラスト
「カラフルな孔雀」

ポストカードイラスト
「幸せな世界」

子どものための弦楽器講座

平和への想いを若い世代へ引き継いでいきたいとの願いから始まった「子どものための弦楽器講座」も、今年で14回目を迎え、今回は町内の小学生22名が参加しました。

ほとんどの受講生が弦楽器は未経験で、楽器の持ち方に始まり、弓の動かし方、弾くときの姿勢、楽譜の読み方など、5月からたくさんのことを勉強してきました。

講座が開講してから、今日この舞台に立つまでわずか3ヶ月という短い期間ですが、子どもたちには、楽器からきれいな音を出せたときの嬉しさや、心を合わせてハーモニーを奏でる喜びを学んでいます。

今日の舞台では、子どもたちの成長と、平和への想いを皆様にも感じていただけることと思います。

小さなヴァイオリニストとチェリストたちの晴れ舞台に、温かいご声援をお願いいたします。

曲目紹介

「むすんでひらいて」　フランス民謡

18世期フランスのオペラを原曲とする日本の童謡。海外では讃美歌『主よ、汝の祝福で我らを解き放ちたまえ』として定着していて、日本へは19世期後半に伝えられました。

「山の音楽家」　ドイツ民謡

森の動物たちが楽器を演奏する子どもたちの大好きな童謡「山の音楽家」は、元々はドイツ民謡で、いろいろな楽器を弾く人たちのことを歌った歌曲です。

日本では、いろんな動物たちがその姿や雰囲気に似合った楽器を手にして紹介するというような楽しい童謡になりました。

「キラキラ星変奏曲」　作曲：鈴木　鎮一

『キラキラ星』は、18世紀末のフランスで流行したシャンソン。1806年の『Twinkle,twinkle,little star』が童謡として世界的に広まり、日本には大正時代に紹介されました。鈴木鎮一氏がこの曲を元に作曲しました。

プロフィール

子どものための弦楽器講座

指揮・ヴァイオリン指導　**齊藤（さいとう）　享（あきら）**

4歳よりヴァイオリンを始める。国際スズキ・メソード音楽学院卒業。1992年フィラデルフィアに留学。グレン・ドーマン博士の人間能力開発研究所にてヴァイオリン指導も行う。

これまでに安田広務、鈴木鎮一、ジュリアン・マイヤーの各氏に師事。1996年スズキ・メソード長崎支部を開設、子ども達の指導にあたる（岩川町教室、つつじが丘教室、大村教室で行っている）。長崎ＯＭＵＲＡ室内合奏団に所属。

2010年から毎年8月9日、長崎の平和祈念式典において、被爆者歌う会『ひまわり』の伴奏を務める。長崎県音楽連盟会員。長崎音楽ボランティア協会会員。その他、イベント会場や披露宴、チャペル等に於いて、クラシックに限らず多彩なジャンルでの演奏活動を各地で行っている。

出演者

受講生　ヴァイオリン

（小１）生田　恵眞　黒木海七帆　坂本　実采　末吉　然　三谷　一華　南　美紀

（小２）小南　桂馬　高比良心莉　中村　理紗　梁井さくら

（小３）梅津　洸　梅津　直　金子　零司

（小４）宿輪　紗奈　高西　伶莉　中原亜由美

（小５）永　翔匡

（小６）梅津　陸

チェロ

（小５）綾部ほのか　廣田　結哉

（小６）久原　一太　陶山　芽唯

指導者　指　揮　齊藤　享※

ヴァイオリン　梶　耕輔※　山本　博子※　渡邊到紫子※　時津　仁美※

チェロ　池田　晴子※　村山　和聡

ピアノ　中野みさと

※合同演奏出演者

プロフィール

子どものための弦楽器講座

チェロ指導　**池田（いけだ）　晴子（はるこ）**

武蔵野音楽大学弦楽器専攻卒業。

チェロの指導及び、弦楽器アンサンブル等の指導をしている。

諫早市在住。

「平和コンサート in ながよ」ジュネス弦楽アンサンブル

「子どものための弦楽器講座」がきっかけとなり、2009 年に「ジュネス弦楽アンサンブル」は生まれました。現在は、小学生から高校生までの幅広い年齢の子どもたちが、助け合いながら練習を重ねています。平和コンサートをはじめ、年に数回ステージで演奏しています。

昨今の世界情勢を見聞きする度に、ジュネスの子どもたちが大人になっても、当たり前の毎日・当たり前の幸せがどうか続いていますように、と願わずにはいられません。今回の演奏曲は、平和の喜びを、誰かを想う温もりを、若人の未来への希望を、音に紡いで届けたいと選曲しました。

曲目紹介

「アラ・ホーンパイプ」（水上の音楽より）　作曲：ヘンデル　編曲：FCM

ホーンパイプは、16 世紀頃に生まれたイギリスの舞曲です。この曲は、「水上の音楽」の 1 曲で、舟遊びの際に演奏したといわれており、全体に明るく開放的な雰囲気が溢れています。ヘンデルの代表作品のひとつです。

「アイノカタチ」　作曲：GReeeeN　編曲：つかジニー

テレビドラマ『義母と娘のブルース』の主題歌であり、2018 年のヒット曲。誰の心にもある愛情をストレートな言葉で表現した曲で、MISIA を代表する 1 曲です。

「カントリーロード」
作曲：ジョン　デンバー、ビル　ダノフ、タフィー　ナイバート　編曲：松原　幸広

アニメ映画『耳をすませば』の主題歌。若者が一人で生きることを決意する歌詞は、前向きで初々しさを感じさせます。思わず弱気になった自分に鞭打ち、「明日はいつもの僕さ」と言い聞かせて、再び前を向く姿に決意の重さを感じます。

プロフィール

「平和コンサート in ながよ」ジュネス弦楽アンサンブル

指揮　**志岐（しき）　光昭（みつあき）**

京都市立芸術大学音楽部卒業、トロンボーン専攻。指揮を、石橋義也氏に師事。

長崎県オペラ協会の歌劇「蝶々夫人」第 1 回公演の副指揮者を務めた。元長崎県吹奏楽連盟長崎支部理事長。

現在、ジュニアオーケストラながさき団長・指揮者、女性合唱団 JOY 常任指揮者、レクイエム・プロジェクト長崎合唱団指導スタッフ、「平和コンサート in ながよ」ジュネス弦楽アンサンブル指揮者。

出演者

ヴァイオリン

6 期生	小松　涼音（中３）		
8 期生	小田川　尊（高３）	山本　奈央（中２）	中野　　弾（小６）
9 期生	小林　　椿（小６）	シャルマ　ジェイ（小６）	溝上　琴乃（小６）
10 期生	永川　　絆（中２）	吉村　一真（小６）	
11 期生	二又　凜心（小４）		
12 期生	池田　花愛（小５）	川口　葉琉（小３）	シャルマ　カヴィヤ（小３）
13 期生	森脇　愛依（小６）	福田　修子（小５）	木下　翔太（小４）
	溝田りおな（小４）	中野　　喜（小２）	
有　志	吉村　由紀（保護者）		

チェロ

12 期生	竹内　陽香（小６）
有　志	上河麻衣子（卒団生保護者）※

賛助出演	日髙　　聖（ヴィオラ）※	藤本　愛子（コントラバス）※			
指揮	志岐　光昭				
ピアノ	中野みさと				
指導者	齊藤　　享※	渡邊到紫子※	梶　　耕輔※	松﨑　千草	岩永　雅子
	池田　晴子※	村山　和聡	大津　順子	山本　博子※	

※合同演奏出演者

プロフィール

「平和コンサート in ながよ」ジュネス弦楽アンサンブル

ピアノ　**中野（なかの）　みさと**

神戸女学院大学音楽学部卒業。ピアノを石毛明生・田隅靖子・池田洋子・K.Drafi の各氏に、室内楽を辻井淳氏に師事。日本ピアノコンクール東京本選第３位等の受賞歴。在学中、卒業後も、NY Summit Music Festival に参加し、E.Briskin・P.Nersessian・D.Joffe の各氏のレッスンを受け、ソロ・室内楽の両演奏会に出演。国内では、堺新人演奏会や大阪ロシア総領事館での室内楽演奏会等に出演。合唱やヴァイオリン、マリンバの伴奏を務め、ヴァイオリン・琴・ピアノの異色トリオ活動も行っていた。現在は子育て真っ只中で、自身の音楽活動はお休み中。

長与町立高田中学校吹奏楽部

高田中学校吹奏楽部は３年生２名、２年生７名、１年生８名、計１７名で顧問の中谷恵里子先生の指導のもと、日々の音楽活動に励んでいます。

明るく楽しく笑いが絶えない雰囲気の中にも、美しく想いをこめた音色を追求する厳しい姿勢を忘れずに、毎日の基礎練習を大切に２，３年生が１年生に丁寧に指導しながら、音楽を創り上げています。部員数は少ないですが、一人ひとりが、自分の音に責任をもって、仲間とのアンサンブルを楽しむことを大切に日々の練習に励んでいます。また、さまざまな方と音楽でつながり、音楽をとおして人としての生き方を学んでいるところです。

これからも、演奏できることへの喜びと、聴いていただけることへの感謝を大切にして、日々音楽と仲良くしていきたいと思っています。

曲目紹介

「アルデバラン」　作曲：森山直太朗　編曲：波田野直彦

NHK 連続テレビ小説「カムカムエヴリバディ」の主題歌です。昭和から令和の３つの時代を、ラジオ英語講座と共に生きた祖母、母、娘の３世代のヒロインの、一世紀におよぶ家族物語です。困難な時代を生きる人々へのエールを込めた曲を、わたしたちも、平和な時間が続くことを願いながら演奏したいです。

「群青」　作曲：Ayase　編曲：佐藤　博昭

「夜に駆ける」を大ヒットさせた YOASOBI の楽曲です。聴く人の心を奮い立たせてくれる応援ソングで、今年、高田中学校スポーツデーのダンス曲に使われました。この曲で、全校生徒の気持ちが一つになった大切な曲です。仲間の幸せな笑顔が、わたしたちの平和です。

「今、ここにいる幸せ」を感じて、皆さんに明るい気持ちになっていただけたら嬉しいです。

出演者

フルート	鹿田　結衣（3）	吉永　華緒（1）
クラリネット	三浦恵里衣（2）	西本　莉沙（1）
アルトサックス	日髙　珠代（2）	
テナーサックス	佐舗　真穂（1）	
バリトンサックス	山口　純怜（2）	
ホルン	浅尾　蕾音（2）	岩佐　心葉（1）
トランペット	泉　凛花（2）	小林　寧音（1）
トロンボーン	岩下さくら（2）	東　千織（1）
ユーフォニウム	江口　和花（2）	石丸　詩（1）
チューバ	下村　彩詩（1）	
パーカッション	松尾　葵（3）	
指揮	中谷恵里子	

（　）内は学年

「平和の詩」朗読

続くべきなのは

長崎県立長崎北陽台高等学校　柴田　裕介

連日ニュースで流れ始めた。
「本当に戦争が始まるなんて」
口を揃えて言い出した。
「あの国を助けよう」
理由を聞くとこう言った。

「戦争はダメだから」

今まで何を見ていたんだろう。
何を聞いていたんだろう。

いつだってあっていたはずなのに。
知りたがらなかっただけなのに。

ある点では「今」が続くべきなんだ。

私たちが知りたがる「今」が。

使命

長崎市立長崎商業高等学校　加奈川　知

わたしの人生は
わたしが主役
誰にも壊されたくない
わたしが育ってきた町は
わたしの宝物
誰にも奪われたくない
わたしの家族友達は
わたしが愛する人たち
誰にも傷つけられたくない

あの日
あのたった一発の爆弾は
人々から何もかも
壊して奪って傷つけた
二度と同じ過ちを犯さぬように
わたしは伝え続ける
七十七年前の被爆者の思いと苦しみを
それがわたしたちの使命なのだから

他人事

長崎県立長崎北陽台高等学校　齋藤　美緒

どこかの街で戦火が上がり、
どこかの村で子どもが泣いた。

どこかの街で爆弾が落ちて、
どこかの村で老人が叫んだ。

それを、
どこかの街の少年がＴＶの前で眺めた。
どこかの街の少女が液晶越しに眺めた。

「かわいそう」なふりをしながら、
ほんとうは全部他人事。

それでも、考えなければならない。
「この」街に戦火が降りそそぐ前に。
「この」街が廃墟になる前に。
「あなた」と、「あなたの大切な人」が、
悲痛な涙を流す前に

長崎

長崎市立長崎商業高等学校　永石　眞由

「今の長崎は二度目の景色なんです」
七十七年経ったいま私はこう告げる
最初の長崎はどうだったんだろう
一瞬にしてなくなったあの町は
あなたがもう一度立て直してくれなかったら
あなたが守ってくれなかったら
あなたがいなかったら
長崎は今ないのかもしれない
数十年の月日を経て立て直した私のホーム
一瞬にしてあなたの青春を　まわりのものを
奪ったあの瞬間から
あなたはずっとあの長い坂道をのぼり
私をいまこの地に立たせてくれている
今この地に平和の鐘を鳴らしつづけられるように
最後にこう語り継ぐ
「今守りたいとふと頭に浮かんだその場所が自分自身のホームです。ホームというのは誰も人から奪っちゃいけないたった一つの大切な場所そこに導いてくれたあなたへありがとう。」と。

色の違い時代の違い

長崎県立長崎北陽台高等学校　野口　吹

時代によってよく見る色は様々
赤といえばりんごの赤
赤といえば血の赤

緑といえば森林の緑
緑といえば軍服の緑

白といえば蛍光灯の光の白
白といえば爆弾が爆発したときの光の白

黒といえばえんぴつの黒
黒といえば焼けこげた大地の黒

色に対するイメージは時代によって変わる

幸せ

長崎市立長崎商業高等学校　杉内　由菜

私は今、幸せを噛みしめている。
ひいおばあちゃんの温かい笑顔と共に
生きている。
この街はなんて綺麗なのだろう。
地平線まで見える海。生い茂った草や木。
鳥が大空を羽ばたく。友達や家族と笑い合う。
それだけでこの街は輝いてみえる。
七十七年前のこの街はなんて残酷だったのだろう。
爆弾や空襲で赤く染まった火の海。
黒く焼け焦げ、物欲しそうに死んだ人たちが
ガラスの上に倒れている血にまみれた大地。
鉄の雨により見えなくなった大空。
毎日一人で泣く地獄の日々。
体験はせずとも、学び、聞き、後世に伝えることは
今生きている私たちの使命。
家族、友人、恋人がいるこの世界と共に
被爆四世の私は使命を全うしたい。

戦争からうまれるもの

長崎市立長崎商業高等学校　若杉　里沙

戦争が私たちから奪うもの
私たちの命を奪う
私たちの大事な人たちを奪う
私たちの安全を奪う
私たちの生活を奪う

戦争が私たちに与えるもの
私たちに憎しみを与える
私たちに武器を与える
私たちに深い悲しみを与える
私たちに恐怖を与える

戦争からうまれるものは
悲しいものばかりだ
苦しいものばかりだ
なぜ人は戦争をするのだろう
戦争から生まれるのは平和ではないのに

青くきれいな空と海

長崎市立長崎商業高等学校　井口　遙乃

青くきれいな空
このきれいな空が
煙や炎に包まれて
青く見えなくなった日が約八十年前
実際に起こったのかと思うと
私は「ゾッ」とした。
青くきれいな海
このきれいな海の上で
どれだけの人々が
命を落としたのだろうか
私は考えるだけで「ゾクッ」とした。
そして思った。
「こんなこと二度と起こってはいけない」と
だから私は願い、叫ぶ
この青くきれいな空と
青くきれいな海をずっと見たいんだと。

「平和」という言葉がない世界

長崎県立長崎北陽台高等学校　東雲　啓記

日本は平和な国だ
なぜなら世界のどこかが平和ではないからだ
誰かが無残に殺される姿を見て
かわいそうな孤児達を見て
私たちは平和を自覚する
あぁよかった、と胸をなでおろす
私たちの国は平和でよかった、と
それはあるいは幸せなことかもしれない
でもそうではないかもしれない
真に平和な世界では、平和という言葉はきっとない
それはあたりまえのことだから
言葉にする必要はないから
はるか遠い未来か
願わくば近い将来
平和という言葉を口にせずとも
誰もがあたりまえに平和に暮らせる日が来ることを
私は願っている

私たちにできること

長崎県立長崎北陽台高等学校　冨永　裕介

「おはよう、朝だよ。早く起きて。」
「おはよう。」
こんな何気ない会話をしている間にも
地球の裏側では、銃声が鳴り響く
ご飯を食べている間も
友達と日常の会話をしている間も
寝ている間も
私たちがあたりまえの生活を送っている間
ずっと、ずっと

日本は平和だから大丈夫
何も心配することはない
そんなことを考えていていいのだろうか
戦争を知らない、現代の私たちは
でも私たちの国は２つの傷を負っている
そんな私たちだからこそできることがある
行動しよう
あの惨劇を繰り返さないために
今ある何気ない日々を続けるために

出演者たちの
練習風景

子どものための弦楽器講座

出演者たちの練習風景

ジュネス弦楽アンサンブル

長崎 OMURA 室内合奏団メンバー

長崎県央に位置するシーハットおおむら（さくらホール）を拠点に、プロの室内オーケストラとして、県内在住及び出身演奏家等を中心に 2003 年結成、迫昭嘉（ピアノ）を音楽監督として始動。2009 年よりアーティスティック・アドヴァイザーに松原勝也（ヴァイオリン）を迎え、さらなる演奏力や音楽性の向上に努めながら質の高い室内オーケストラを目指している。日本オーケストラ連盟準会員。

出 演 者

フルート	永留　結花
ヴァイオリン	中西　　弾
ヴィオラ	岡本　誓志（賛助出演）
チェロ	田辺　清士

曲 目 紹 介

フルート四重奏曲 Op.98
第 1 番 g moll　　作曲：A. ライヒャ

アントン・ライヒャは 1770 年にチェコで生まれました。この作曲家のお名前、はじめて聞いた方も多いかもしれません。

1770 年といえば…そう！ベートーヴェンと同級生の作曲家なんです。ドイツの宮廷楽団では一緒に演奏をしていたこともありました。（ちなみにライヒャはフルート奏者、ベートーヴェンはヴィオラ奏者でした。）同世代の作曲家としてベートーヴェンほどの名声を得ることはありませんでしたが、ライヒャ自身がフルート奏者だったこともあって、管楽器のための作品を沢山作曲しました。作曲法の教授としてもとても素晴らしい功績があり、リストやベルリオーズなどのスーパースター達も彼の教え子たちです。

さて、本日演奏する「フルート四重奏曲第 1 番ト短調」。ライヒャ自身が「この曲は、伴奏つきフルート曲ではない！」と出版譜にまで書き残したこだわりの 1 曲。

つまり、すべての楽器が大活躍！ということですね。（フルート四重奏曲はどうしてもフルートばかりメロディーを吹くことが多いのです…）古典派ながら、時折とてもロマンティックでエネルギー溢れるこの作品。全員でのユニゾンが光る疾走感溢れる 4 楽章は特におススメです。

奏者 4 人の音の会話をたっぷりお楽しみください！

永留　結花（フルート）

大村市出身。

武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科卒業。同大学卒業演奏会、新人演奏会出演。

第 34 回 長崎県新人発表演奏会に出演、準グランプリ受賞。第 59 回 西日本国際音楽コンクール最高位受賞。

フルートを濱砂由美子、中山早苗、吉岡アカリの各氏に師事。

これまでに 2 枚のオリジナル CD をリリース。現在、長崎 OMURA 室内合奏団団員。永留結花フルート教室主宰。

中西　　弾（ヴァイオリン）

長与町出身。5 歳からヴァイオリンを始める。

長崎県新人発表演奏会、西日本出身新人紹介演奏会に出演。第 10 回宮日音楽コンクールにて優秀賞を受賞。 川口千穂、故松村英夫、松野弘明、豊嶋泰嗣の各氏に師事。長崎 OMURA 室内合奏団団員。

クラシックに留まらずポップス、オリジナル楽曲とライブ活動を積極的に展開。クルーズトレインななつ星 in 九州での演奏クルーとして乗務。葉加瀬太郎オーケストラコンサート 2021、2022 参加。これまでに自身のオリジナル楽曲を収録した CD を 10 枚リリースする等、楽曲制作も精力的に行っている。

岡本　誓志（ヴィオラ）
（賛助出演）

長崎市出身。千葉大学理学部卒。3 歳よりヴァイオリンを始め、弾くんの弾くヴィタリ作曲シャコンヌに憧れて、苦しいときも泣きながらヴァイオリンを続ける。長崎ジュネス、諫早交響楽団、長崎北高校オーケストラ部等で合奏、音楽の楽しさを学ぶ。大学進学を期に、ヴィオラを弾く両親の影響、また体格の良さを活かしヴィオラを始める。大学卒業後は関東で働いていたが、長男誕生を機に長崎へ U ターン転職し、現在は長与町在住。これまでにヴァイオリンを川口千穂、片田江智子、松岡洋子の各氏に、ヴィオラを小山貴之氏に師事。第 20 回長崎若い芽のコンサートにヴァイオリンで、第 42 回長崎県新人演奏会にヴィオラで出演。

田辺　清士（チェロ）

愛知県名古屋市出身。9 歳よりチェロを始める。長崎大学工学部機械システム工学科卒業後、長崎大学大学院教育学研究科音楽教育専修を修了。チェロを林良一、宮田浩久各氏に師事。県内各地で室内楽を中心に活動している。OMURA 室内合奏団コントラバス奏者、亀子政孝と低弦アンサンブル Bottom line strigs を結成し、クラシック曲の演奏のみでなく詩の朗読と共演する等様々な活動を行っている。長崎 OMURA 室内合奏団団員。長崎県音楽連盟会員。2013-14、2017 － 18 年度長崎市アウトリーチ事業登録アーティスト。

「平和コンサート in ながよ」合唱団

長与町内外で活動している長与プラーム混声合唱団・オレンジハーモニー・コーロあやめ・長崎アカデミー男声合唱団の各合唱団団員有志がコンサートの趣旨に賛同し、平和のハーモニーを発信しようと「平和コンサート in ながよ合唱団」として毎年５月に新たに結成されます。毎週土曜日に集まり、それぞれの曲で歌われる歌詞の願いとその合唱の響きの中に「調和の世界」への思いを皆で確認し、一人ひとりのパートの音そして和音を確かめ合って８月に向かって練習を重ねてきました。平和への思いを込めて「パワフルな和の合唱」をお届けします。

曲目紹介

「一本のペンで」高校生一万人署名活動実行委員会の詩をもとに　作詞：石黒真知子　作曲：池辺晋一郎

2001 年に長崎で始まった核兵器廃絶を求める「高校生一万人署名活動」は、2013 年には 100 万筆を突破した。毎年「高校生平和大使」が、これを欧州国連本部へ届けている。署名はもちろん高校生に限るものではないばかりか、今やフィリピン、韓国、ブラジル、アメリカ、オランダ、ニュージーランド他、世界へ大きな広がりを作るに至っている。この経緯を記録した長崎新聞新書を読んでいた僕は、この委嘱に意欲を燃やした。詩人・石黒真知子さんが、この署名活動実行委員会の詩をもとに書かれた詩による曲である。
（池辺晋一郎ノートより）

※ Small power but very very powerful 2007 年 8 月、ジュネーブで開かれた軍縮世界会議の日本政府代表部を訪問した高校生たちに、樽井大使が贈った言葉。

「地球の九条もしくは南極賛歌」　作詞：柴田　鉄治　作曲：池辺晋一郎

2007 年 10 月と記憶するが、僕の手元に一篇の詩が届いた。元朝日新聞で南極越冬隊随行記者も務めた日本ジャーナリスト会議メンバー・柴田鉄治さんの手によるもの。護憲活動などに力を注いでいる福田光雄さんが仲介者となっての、この詩への作曲依頼であった。一読して、この詩のポリシーに強く共感を抱いた僕はその依頼に快諾したがなかなか果たせなかった。ようやくできたのは 2014 年秋も近いころ。翌 15 年 1 月 25 日東京「調布九条の会」で、僕自身の指揮により初演した。以後、全国で歌われている。憲法を護り、戦争をしない日本でありつづけるための努力をあらためて誓うことになったのは、言うまでもない。柴田鉄治さんの著書《世界中を「南極」にしよう》を一読されることをお勧めする。
（池辺晋一郎ノートより）

合同演奏

「千羽鶴」　作詞：横山　鼎　作曲：大島ミチル　編曲：三河　正典

被爆五十周年記念歌として 1947 点の応募の中から選ばれた詞に、長崎出身の作曲家大島ミチルさんが作曲しました。平和への願いがこめられたこの曲は、1995 年より毎年８月９日の平和祈念式典で合唱されています。原爆資料館では毎日 11 時 02 分に流されるほか、毎月９日に長崎市の防災行政無線でも放送され、長崎市役所の電話の保留音としても採用されています。平和への願いを込めて歌いたいと思います。

「花は咲く」　作詞：岩井　俊二　作曲：菅野よう子　編曲：三宅　一徳

2011 年３月 11 日に発生した東日本大震災の被災地および被災者の物心両面の復興を応援するために制作されたチャリティーソングです。作詞者、作曲者ともに宮城県仙台市の出身で、作詞者岩井俊二さんは「亡くなった人たち、生き残った人たち、あの震災を遠くから心配していた人たち、3.11 から今に至るまで、それぞれが一体どんな想いをしているのか、数行では到底描きようもない想いの、せめて僅かな片鱗でも書き留めることができたら、という想いで書きました」と、また作曲者の菅野よう子さんは、「100 年経って、なんのために、あるいはどんなきっかけで出来た曲か忘れられて、詠み人知らずで残る曲になるといいなあと願っています」と語っています。皆さんごいっしょに心のなかでお歌いください。

出演者

指揮	指方　浩			
ピアノ	大塚　裕子			
ソプラノ	尾形　睦	指方美智子	下野　薫	高塚　祐子
	平野みどり	松本由美子	水島　節子	
アルト	今道　豊子	久原岐代子	田中　昭子	辻　奈津紀
	長谷川佐紀子	姫野みどり	松本　昌子	
テノール	下野　康文	朝長　初巳	横田　建次	吉田　聿憲
バス	長谷川則昭	丸田　國生		
合同演奏出演	梶　愛	田中　能子	森　淳子	

プロフィール

「平和コンサート in ながよ」合唱団　指揮　**指方（さしかた）　浩（ひろし）**（作曲家）

長崎県生まれ。大阪音楽大学作曲学科卒業、同大学大学院修了。近藤圭・平井康三郎各氏に師事。大学院修了後長崎に帰り、長崎大学附属中学校、活水高校で教鞭を執る。その後、新しい音楽教育を求め渡米、音楽指導法をコロンビア大学教授 R・ペース氏に学ぶ。

現在、指方音楽工房を経営し、ピアノ・音楽指導にあたる傍ら、東京・大阪を始め全国各地の講習会・研修会で講師を務める。

作曲作品は合唱曲・器楽曲の他、長与北小学校校歌、長与第二中学校校歌、など十数校の校歌を作曲している。またその親しみやすいメロディーの歌曲や合唱作品は全国各地で様々な人たちに毎日のように歌われている。

長崎ママのコーラス、コーロあやめ指揮者。アンサンブル「浩々」主宰。

「平和コンサート in ながよ」合唱団　ピアノ伴奏　**大塚（おおつか）　裕子（ゆうこ）**

活水高校音楽コース、フェリス女学院音楽科卒。長崎県新人発表演奏会、西日本新人紹介演奏会に出演。姉とピアノデュオ「デュオ・スール」を結成、連弾、2 台ピアノによるアンサンブル活動をしている。十八親和銀行混声合唱団他、複数の合唱団の伴奏者。長崎純心大学非常勤講師、長崎県音楽連盟運営委員。長崎音楽ボランティア協会会員。

2022 平和コンサート in ながよ vol.23

歌詞集

一本のペンで

高校生1万人署名活動実行委員会の詩をもとに

作詞：石黒真知子　　作曲：池辺晋一郎

わたしは　一本の線を引く
果てしない野原が　広がる
そして　一粒の種をまく
希望という名の　小さな種を
日照りや吹雪　鉄の嵐にも負けないで
芽を伸ばせ　希望　地平の果てまで
やわらかなみどりの手で　地球をだきしめて
わたしたちは微力だけれど　無力ではない
小さな力は　やがて　大きな力になる
行こう　戦争のない世界めざして
Small power but very very powerful
Small power but very very powerful

わたしは　一本の線を引く
テーブルがひとつ　できる
そして　湯気のたつスープをのせる
家族の笑う声　いつもあるように
貧困や病気　戦争の闇の底にも
朝はくる　お早う　テーブルを囲めば
重たい扉を押す　力がうまれてくる
わたしたちは微力だけれど　無力ではない
小さな力は　やがて　大きな力になる
行こう　貧困のない世界めざして
Small power but very very powerful
Small power but very very powerful

わたしは　一本の線を引く
まっすぐに道が　伸びる
そして　胸をはり歩いて行く
託された思い　伝えるために
ぬかるみや　行く手を塞ぐガレキにひるまず
まだ見ぬ　あなた　この道で会える
高らかな足音を　未来に届けよう
わたしたちは微力だけれど　無力ではない
小さな力は　やがて　大きな力になる
行こう　核兵器のない世界めざして
Small power but very very powerful
Small power but very very powerful

地球の九条もしくは南極賛歌

作詞：柴田　鉄治　　作曲：池辺晋一郎

南極は　地球の九条だ
国境もない　軍事基地もない
人類の　理想を実現　平和の地

南極は　素敵な自然の楽園だ
ペンギンがいる　アザラシがいる
生き物が　共存共栄　豊かな地

南極は　宇宙に開く地球の窓だ
オーロラがある　隕石がある
なぞを解き　未来をさぐる　科学の地

南極は　地球環境のモニターだ
氷を掘る　オゾンを測る
力あわせ　環境守る　モデルの地

南極は　地球の憲法九条だ
戦争なくし　人類仲良く
世界中を　平和に変える　魔法の地

千羽鶴

詞：横山　鼎　　作曲：大島ミチル　　編曲：三河　正典

平和への誓い新たに　緋の色の鶴を折る
清らかな心のままに　白い鶴折りたたみ
わきあがる熱き思いを　赤色の鶴に折る

平和への祈りは深く　紫の鶴を折る
野の果てに埋もれし人に　黄色い鶴折りたたみ
水底に沈みし人に　青色の鶴を折る

平和への願いをこめて　緑なる鶴を折る
地球より重い生命よ　藍の鶴折りたたみ
未来への希望と夢を　桃色の鶴に折る

未来への希望と夢を　虹色の鶴に折る

花 は 咲 く

作詞：岩井　俊二　　作曲：菅野よう子　　編曲：三宅　一徳

真っ白な雪道に春風香る　わたしはなつかしい
あの街を思い出す　叶えたい夢もあった
変わりたい自分もいた　今はただなつかしい
あの人を思い出す　誰かの歌が聞こえる
誰かを励ましてる　誰かの笑顔が見える
悲しみの向こう側に
花は花は花は咲く　いつか生まれる君に
花は花は花は咲く　わたしは何を残しただろう

夜空の向こうの朝の気配に　わたしはなつかしい
あの日々を思い出す　傷ついて傷つけて
報われず泣いたりして　今はただ愛おしい
あの人を思い出す　誰かの想いが見える
誰かと結ばれてる　誰かの未来が見える
悲しみの向こう側に
花は花は花は咲く　いつか生まれる君に
花は花は花は咲く　わたしは何を残しただろう
花は花は花は咲く　いつか生まれる君に
花は花は花は咲く　わたしは何を残しただろう
花は花は花は咲く　いつか生まれる君に
花は花は花は咲く　いつか恋する君のために

ふ る さ と

作詞：高野　辰之　　作曲：岡野　貞一

一、うさぎ追いし彼の山
こぶな釣りし彼の川
夢は今もめぐりて
忘れがたきふるさと

二、いかにいます父母
つつがなしやともがき
雨に風につけても
思いいづるふるさと

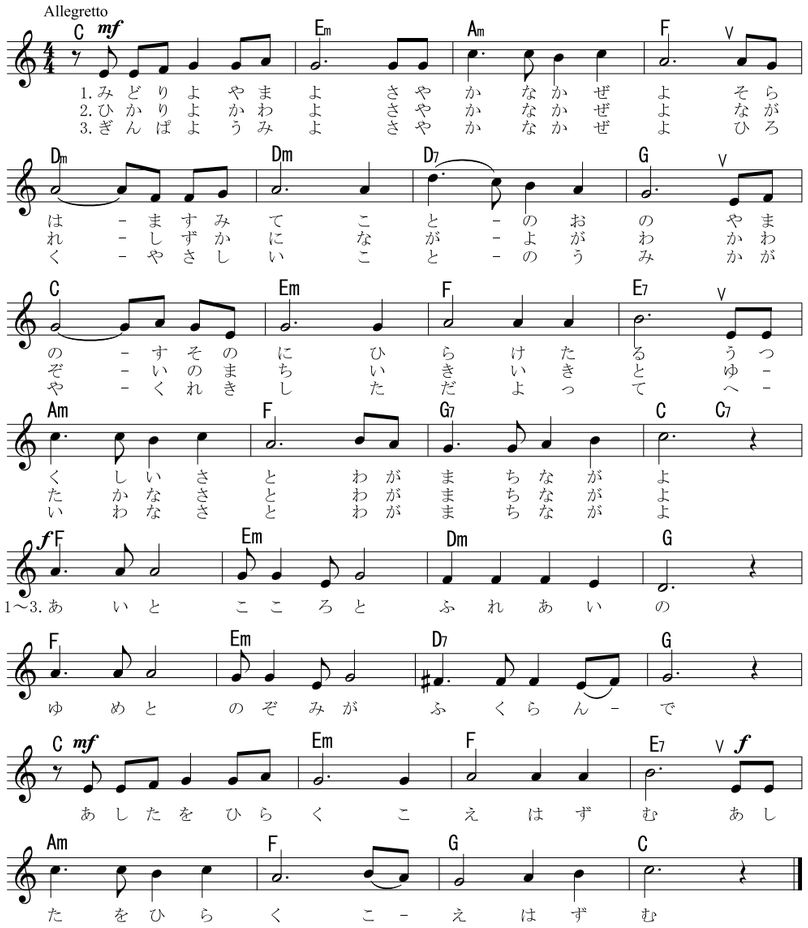
三、志をはたして
いつの日にか帰らん
山は青きふるさと
水は清きふるさと

JASRAC 出 2204668-201

長与町町歌

―明日をひらく―

作詞　山田　喜孝
作曲　指方　　浩



一、緑よ　山よ　さやかな風よ
空は真澄みて　琴の尾の
山のすそ野に　ひらけたる
美しい里　わが町長与
※愛と心と　ふれあいの
夢と望みが　ふくらんで
明日をひらく　歓声はずむ
明日をひらく　歓声はずむ

二、光よ　川よ　さやかな風よ
流れ静かに　長与川
川沿いの町　生き生きと
豊かな里　わが町長与
※（繰り返し）

三、銀波よ　海よ　さやかな風よ
広く優しい　琴の海
輝く歴史　漂って
平和な里　わが町長与
※（繰り返し）

町歌「明日をひらく」

平成元年、長与町町制 20 周年を迎えるにあたり、みんなで歌える町の歌をということで制作されました。ハ長調で書かれた明るくリズミカルなこの曲は、記念式典における長与町の全合唱団団員 100 余名の歌声による発表以来、町内の各種行事、音楽祭、発表会、公民館講座の中で歌われ、夏休み・冬休みには小中学生の帰宅の放送としてもその軽やかなメロディーが町内に流れています。今日は合唱と管弦楽器により演奏されます。どうぞ皆様もご一緒に“♪明日をひらく我が町長与”を心の中でお歌いください。

JASRAC 出 2204668-201

出演者たちの練習風景

「平和コンサートinながよ」合唱団

PROGRAM

14:00 開演　16:00 終了予定

	町長挨拶	
1	むすんでひらいて 山の音楽家 キラキラ星変奏曲	子どものための弦楽器講座　受講生 指　揮　　齊藤　　享 ピアノ　　中野みさと
2	アラ・ホーンパイプ カントリーロード アイノカタチ	「平和コンサート in ながよ」ジュネス弦楽アンサンブル 指　揮　　志岐　光昭 ピアノ　　中野みさと
3	アルデバラン 群青	長与町立高田中学校吹奏楽部 指　揮　　中谷恵里子

会場換気・休憩（10 分間）

4	平和の詩朗読	朗　読　　長崎県立長崎北陽台高等学校生徒 長崎市立長崎商業高等学校生徒
5	フルート四重奏曲 Op.98 第 1 番 g moll	長崎 OMURA 室内合奏団メンバー 永留　結花、中西　弾、田辺　清士、岡本　誓志（賛助）

会場換気・休憩（10 分間）

6	一本のペンで 地球の九条もしくは南極賛歌	合　唱　　「平和コンサート in ながよ」合唱団 指　揮　　指方　　浩 ピアノ　　大塚　裕子
7	千羽鶴 花は咲く 長与町町歌「明日をひらく」 ふるさと	合　唱　　「平和コンサート in ながよ」合唱団 指　揮　　指方　　浩 ピアノ　　大塚　裕子 長崎 OMURA 室内合奏団メンバー 「平和コンサート in ながよ」ジュネス弦楽アンサンブル指導者、出演者 子どものための弦楽器講座指導者

「平和コンサート in ながよ」実行委員会

委員長　指方　浩、副委員長　中西　弾、委員　平野　義久・梶　耕輔・時津　仁美・姫野みどり

会場アナウンス：長崎県立長崎北陽台高等学校放送部　山田　唯翔・貞岡　杏果

主催：長与町・長与町教育委員会・平和コンサート in ながよ実行委員会

共催：長与町文化協会